

# 伊江島での証言の一部

2015年9月取材 與那城彦興さん

当時15歳の與那城 彦興（よなしろ・げんこう）さん(85)は、自宅近くに身を潜めていたが、戦禍が激しくなるとイッテヤーヤガマに1か月間身を隠し続けました。ある日突然、米兵の攻撃を受けた。ガス弾が投げ込まれ、ガマの中は煙が充満。與那城さんの父ら3人がガマの外に逃げ出した。うち1人が待ち構えていた米兵に撃たれたが、命は助かった。與那城さんらは約8メートルの縦穴を下り、爆発音が鳴り響く中、身を隠し続けた。外から「彦興（げんこう）」を繰り返す父の声。覚悟を決め、與那城さんを先頭に全員で外に出た。軍服を着た防衛隊1人は撃ち殺された。捕虜となり収容所へ連れて行かれた3日後、慶良間諸島へ強制的に移送させられた。